

どきん

2025年9月発行

読書でひらく、新しい自分！

長かった夏休みが終わり、学校生活が再スタートしましたね！部活動に勉強、友人との時間……と、毎日忙しく過ごしていることだと思います。でも、ちょっとだけ立ち止まって、この夏読んだ本のこと、考えてみませんか？

もしかしたら「夏休み中、全然本読まなかったな～」という人もいるかもしれませんね。大丈夫！読書に遅すぎるなんてことはありません。夏休み明けの今だからこそ、読書を通して新しい世界をひらく、さらに魅力的な自分を発見するチャンスです。

読書は「知の冒険」だ！

読書は、まるでタイムマシンやどこでもドアのよう。ページをめくるだけで、歴史上の偉人と対話したり、遠い国の文化に触れたり、SFの世界で宇宙を旅したりできます。

- ❤️ **読書で広がる世界**：教科書だけでは学べない、生きた知識や多様な価値観に触れられます。
- ❤️ **読書で深まる思考力**：物語の登場人物の気持ちを想像したり、著者の主張を読み解いたりすることで、物事を深く考える力が養われます。
- ❤️ **読書で豊かになる言葉**：新しい言葉や表現に出会うことで、自分の気持ちをより豊かに表現できるようになります。

「何を読んだらいいかわからない…」そんな時は

たくさんの本の中から、自分にぴったりの一冊を見つけるのは難しいですよね。そんな時は、こんなヒントを参考にしてみてください。

- 💡 **興味のあることから広げよう**：好きな科目、趣味、最近気になっているニュースなど、まずは自分が興味を持っている分野の本から探してみるのがおすすめです。歴史が好きなら歴史小説、動物が好きなら動物に関するノンフィクションなど、きっと夢中になれる本が見つかるはず。
- 💡 **話題の本をチェック**：友達や先生が「面白かった！」と言っていた本、書店で平積みになっている話題の本など、みんなが注目している本を手に取ってみるのも良いでしょう。意外な発見があるかもしれません。
- 💡 **悩みに寄り添う本**：人間関係、進路、将来のこと…。もし今、何か悩んでいることがあるなら、同じような悩みを持つ主人公が出てくる本や、心のモヤモヤを晴らしてくれるような自己啓発書などを読んでみるのもいいかもしれません。
- 💡 **本のソムリエに相談！**：図書館には、たくさんの本を知っている先生や司書さんがいます。気軽に「こんなジャンルの本が読みたいんですけど…」「何かおすすめの本ありますか？」と声をかけてみてください。あなたの「読みたい！」をきっと引き出してくれますよ。

図書室は君たちの「秘密基地」

夏休み明けの図書室は、新しい本もたくさん入荷しています。静かで落ち着いた空間は、読書に集中するのにぴったり。放課後や休み時間に、ぜひ気軽に立ち寄ってみてください。もちろん、本を借りるだけでなく、自習スペースとして活用したり、友達と静かに調べ物をしたりするのも大歓迎です。

読書は、あなたの世界を何倍にも広げてくれる最高のツールです。この夏休み明け、新しい読書の扉を開いて、今まで知らなかった自分に出会ってみませんか？

＼図書委員が自信をもっておすすめする本はこれだ!!／

本を守ろうとする 猫の話

夏川草介/著

この本はおじいちゃんをなくした夏木が突然現れた猫に出会い、本が今どんな目に合っているのかを知り本を助ける物語です。

この本を読むとペーパーレス化が進んでいる世の中で本がどんな扱いを受けているのかがわかり私は本をもっと読みたいとおもいました。



この本を読んであなたもきっと本を読みたくなる！

廣居向日葵



5分後に意外な結末

～アクアマリンからあふれる涙～

作・桃戸ハル

あらすじ

「101回目の桃太郎」という題名で桃太郎は村人たちの宝を取り返すために鬼退治をしに行く。この桃太郎はよみがえることができ、復活すると桃の中に入っていておばあさんに拾われるところに戻ってしまいます。鬼に負けたり勝ったりしだんだんと鬼の動きなど分かってきて倒すがまた新たな鬼が出現し敗北してしまいます。

桃太郎は鬼退治をすることができるのか・・・

おすすめポイント

この本はミステリーやファンタジー、ホラーなどたくさんの種類を読むことができます。また一つ一つの話が5分で読むことができ、最後には意外な結末がっています。すこしの時間で一つの話を読むことができることがおすすめポイントです！

2年3組 半田雅晃